

「ちょぼちょぼ市民のためのちょぼちょぼゼミナール: ちょぼゼミ その6」

「過小評価されているβ（ベータ）核種の危険性： トリチウムと放射性ストロンチウム」

講師：田中一郎（たなか いちろう）さん

「原子力資料情報室」会員
ちょぼちょぼ市民による政策提言の会（運営委員）

東電福島第一原発からの放射能漏れはとてつもない量です。

汚染水は、この4年間で東電が必死に回収したものだけで、75万立方メートルという量に達しています。問題は、その汚染水に含まれている放射性物質の量と種類です。

大量に漏れいしている放射性セシウムと放射性ストロンチウムは、いずれも人体に重大かつ深刻な影響を与えます。しかし、よく知られていないのがトリチウムの危険性です。

このトリチウムがなぜ恐ろしいかといいますと、科学的には水素なので水素のように振る舞うからです。トリチウムが酸素と結合すると「トリチウム水」という放射能の水になるので、水蒸気となって東日本全域の空気中に漂っています。それが我々の体に入って自由に移動しているのです。トリチウムはベータ線（電子）を放出してヘリウムに変わります。半減期は12.3年なので影響はほぼ一世紀続きます。トリチウムが出すベータ線のエネルギーは小さいから安全だという「専門家」がいますが、果たしてそうでしょうか。実は細胞の中に入り込んだトリチウム（有機結合型トリチウム）のベータ線は超近距離から細胞を攻撃し、遺伝子を破壊し、細胞をガン化し、異常な遺伝を引き起こします。

ほとんどの人が持っている簡易式の放射線測定器は、セシウムやヨウ素が出すガンマ線しか測定できないので、ストロンチウム90やトリチウムが出すベータ線を測定していません。

8月20日(木)19時～21時

(開場 18時30分)

会場:スペースたんぽぽ

参加費:800円(学生400円)

たんぽぽ舎のあるダイナミックビルの4階
JR水道橋駅西口から5分
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-6-2
Tel: 03-3238-9035
Fax: 03-3238-0797
Email: nonukes@tanpoposya.net
<http://www.tanpoposya.net/>

